



京都嵯峨芸術大学

NEWS

理事会報告

教職員人事

人事異動(2014年10月1日付)
 着任(2014年10月1日付)
 小澤昇士
 (学園事務局長兼大学事務局長)
 寺田裕
 (教務学生支援グループ専任職員)
 午居隆平
 (理事長付)

大学報告

2014年度 9月卒業 修了式報告



9月10日(水)の教授会において、芸術学部2名、短期大学部5名の卒業を認定いたしました。
 9月24日(水)に卒業式を挙行し、担当教員出席のもと森本学長から学位記が授与されました。

(教務学生支援グループ)

嵐芸祭 開催報告



嵐芸祭にお越しいただきありがとうございます。皆様のお陰でにぎやかな嵐芸祭になりました。一年間、実行委員長という立場に立って実行委員メンバーはもちろん、嵐芸祭を支えてくださった皆様と

コミュニケーションをとることで私自身成長できたと思っております。今年の2日間はあいの雨でしたが、学内を「まほう」にかけるような展示で飾りました。イベントも「SAGAソニック

2014」としてバンドライブや、中庭のステージで盛り上がった「女のこえんじ」「男のこえんじ」、大阪学院大学プロレス研究会による「プロレス」、最終日には「よしもと」から若手芸人さんたちに来てもら

いライブを行いました。もちろん、できなかったことも多々ありましたが、無事に当日を迎え、来てくださった皆さんが笑顔で楽しんでくれているのを身

の言葉が嬉しくて疲れも吹っ飛びました。来年も再来年もずっと皆様と一緒にすてきな嵐芸祭を築いていけたらと思います。ありがとうございました。
 (嵐芸祭実行委員会委員長 長・白川ナナミ)

ホーム カミングデー 開催報告



嵐芸祭期間中の11月2日(日)11時30分から、本部キャンパス学生食堂において恒例の「嵯峨芸・嵯峨美術カミングデー」を開催いたしました。卒業生や、旧教職員の皆様をお迎えし、軽食やスイーツバイ

キング、野点でおもてなしをいたしました。持山同窓会長のご挨拶、真板教授の講演と続

を参加者全員で完成させ、会場を華やかに彩りました。同窓会によるイベント「来て来て、当たり年！」でも盛り上がり、名残をおしみながら盛会のうちに終えることができました。

(管理運営グループ)

学内公開講座

森耕治氏 特別公開講座 報告



4月に行われた特別公開講座「絵画鑑賞の視点」の続編として、ベルギー王立美術館の公認解説者で美術史家の森耕治氏を招聘し、「マグリットとアンソール」と題した講座が

講座ではマグリットやアンソールの絵画に秘められた意味が謎解きのよ

つという間に過ぎました。(短期大学部・中井浩史准教授)

また時々、美術制作に挑戦しつづける作家たちへのリスベクトと愛情のこもったメッセージが盛り込まれ、参加した学生たちにとっても大きな励みになりました。

TOPICS

教員・在学生・卒業生の活躍

武田康廣氏 特別公開講座



株式会社ガイナックスの取締役・アニメーション製作本部長である武田康廣先生による公開講座が2014年11月7日(金)に開催されました。

ガイナックスは日本や世界で大旋風を巻き起こした「新世紀エヴァンゲリオン」、また近年では「天元突破グレンラガン」などを手がけた、日本を代表するアニメーション制作会社として広く知られており、講座には約100名もの参加者が集いました。

講座では、ガイナックスの作品履歴から始まり、また講演で語られた日本アニメーションの現状「DAICON FILM」について、「インターネットの時代になり、簡単に情報が得られ、作品の公開、その評価も簡単に単に捨てられ、取り替えられてしまう側面があり、そこに危惧を感じている。簡単に済ますのではなく、何事も徹底的にやる、徹底的にやることによって、そこに自分のスタイルが生まれる。若い時代に自

分のスタイルを築くことが重要」というメッセージが印象に残ります。

質疑応答では会場から次々と質問があり、最後まで熱い講座となりました。(芸術学部デザイン学科)

妖怪アート フリマ 大モノノケ市 を開催



モノノケ市とは、嵐電妖怪電車や一条百鬼夜行など、妖怪をテーマとした様々な活動をしている本学のサークル「百妖箱」が企画運営している妖怪アートフリマです。毎回全国から様々なクリエイ

ターが集まり、妖怪をテーマにしたオリジナル妖怪グッズを販売しています。普段は上京区の大將軍八神社の境内をお借りしての出店者50組規模のイベントですが多くのお客様や出店者の皆様の支持を得

て、11月23日(日)に本学講堂にて規模を拡大した大モノノケ市を企画いたしました。会場には約80組の出店者がオリジナル妖怪グッズを販売しました。

妖怪は日本の土着信仰から生まれ、江戸期の浮世絵などの大衆娯楽の題材にされて洗練され、現代においても漫画やゲームなどで取り扱われて人の気を博している現在進行形の大衆娯楽文化です。(卒業生・妖怪プロデューサー・河野隼也非常勤務

ながら常に新たな表現で

再生産されている妖怪コンテンツは、伝統と革新が共存する京都ならではのコンテンツとして定着しつつあります。

オリジナル グッズ デザインコンペ 報告



本学オリジナルグッズのデザインコンペの最優秀賞、優秀賞が決定しました。昨年引き続き今年度も本学のオリジナルグッズのデザインコンペを実施いたしました。このコンペは、本学のオープンキャンパスに来ていただいた方によるこんでもらえる、芸大らしいグッズを開発することが目的です。昨年は残念ながら該当作品がありませんでしたが、今年度は力作ぞろいの応募作品の中から最優秀賞に大谷智子さん(専攻科デザイ

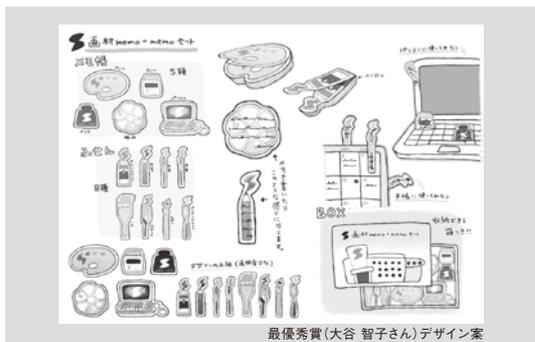
ン専攻1回生)、優秀賞に小林真緒美さん(卒業生、サガクリエイターズクラブ会員)のデザイン案が選ばれました。

最優秀賞の大谷さんのデザイン案は、種々の画材をモチーフにした付箋とメモ帳のセットです。大谷さんの描いた楽しいイラストが審査員を魅了し、採用の決定打となりました。

また、今年度は、卒業生にも門戸を開きデザイン募集をしたところ、みごクラブ会員の小林真緒美さん(専攻1回生)、優秀賞に選ばれました。

これから大谷さんのデザイン案をもとに、本学オリジナルグッズとして製品化していきます。皆さん、ご期待ください。

今回のコンペにご応募してくださった皆様、ありがとうございました。(学長室)



最優秀賞(大谷 智子さん)デザイン案

各種連携事業

ポर्टフォリオ展
開催報告



ポर्टフォリオの作成は学生必須のカリキュラムの一つですがその具体例を参照する場が乏しく、まじめ方がわからないという学生も見受けられます。この展覧会では本学の様々な分野・領域の在学生や卒業生が作成した良質なポर्टフォリオを並べ、美術デザインなどの専門性によって仕事の紹介の仕方がどのように異なるのか、その違いなどを参照できる場を提供しました。

10月14日(火)から17日(木)まで玄関ホールに展示し、登下校時に必ず目に入るようにしたことから、学生の注目度が高く、パスを待つ合間に見るなど絶えず学生が手にとって眺めていました。作品内容を鑑賞していたのか、ポर्टフォリオという形式の参考としてみていたのか、かわりませんが、願わくばその両面から刺激を受け、自らの参考として欲しいと思います。

本企画は後日、高校生を対象とした大学説明の際(制作展WG)に再展示され、本学学生の制作事例を伝えるツールとしても活用されました。今後、本企画を継続的に実施し、活用範囲を広げていくことを提案したいと思います。

川俣正講演会
報告



10月2日(木)、京都国立近代美術館にて本学附属芸術センターの企画による「川俣正講演会『芸術の力』」を開催いたしました。イタリヤのヴェネツィア・アビエンナーレ、ドイツのドクメンタなど世界中のアーティストが集う国際展への出品経験をはじめ、国内では横浜トリエンナーレ総合ディレクターを担われるなど、アーティストの枠を超えて活動されている川俣正氏。講演では、現在フランスのパリ国立高等芸術学院の教授として後進の育成に励んでおられる同氏のこれまでの作品画像を紹介しつつ、アーティストとしての思考と社会との関わり、さらに国によって異なる文化や学生意識の違いなどをユニークな視点で語っていたので、途中、パリ国立高等芸術学院での授業内容や独自の受験制度など、(社会連携・研究支援)まで話が及びました。

参加していた本学の学生が、海外の最新のアート

サガ・クリエイティブ(SCC)の活動報告



サガ・クリエイティブズクラブ(SCC)では、11月16日(日)、本学第6演習室にて、テキストイルアーティストであり本学名誉教授でもある奈良平宣子先生を講師に迎え、「光と影が与えてくれるもの」をテーマに、第3回目のワークショップを開催いたしました。

ワークショップでは、これまで制作してきた先生の作品について、素材や技法についての解説も交えながら紹介していただき、テーマ性、創作の源となつての発想などを語っていただきました。また、会場には先生の作品を展示し、映像だけでなく直接作品を見ていただくことができました。

当日は先生の教え子の卒業生も多数参加していただき、ワークショップの後には皆で記念撮影をするなど、和やかでアットホームな雰囲気の中で終了しました。

サガ・クリエイティブズクラブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動支援、文化事業における事業(学長室)の情報発信の場として、学園関係者の交流の場として様々な活動を展開してゆく予定です。

今後、大学から会員への情報発信の場として、学園関係者の交流の場として、様々な活動を展開してゆく予定です。

在学主権の
サガノミノイチ
が開催



10月11日(土)、在学有志による実行委員会が主催した学内フリーマーケット「SAGA FLEA MARKET VOL.1 サガノミノイチ」が開催されました。

10月11日(土)、在学有志による実行委員会が主催した学内フリーマーケット「SAGA FLEA MARKET VOL.1 サガノミノイチ」が開催されました。

は在学生の大学への企画提案からはじまり、「本学と学生の活動をもっと近隣の方々を知っていただきたい」という動機から生まれたもの。学生達は事前イベントのチラシを作成し、回覧板で近隣へ告知・周知し、開催当日に集まった出店数は80組を超え、約400名もの来場者の方にお越しいただきました。

大学構内の芝生ゾーンや中庭周辺に出店エリアを設け、学生が制作した陶芸作品や手作りアクセサリー、さらに古着、古本、日用品まで、様々な品物が並びました。

学生が主体となり、地域を巻き込んだ初の試みとして開催されたこのイベントは今後も継続予定と

のこ。大学と地域を結ぶ本学の恒例行事になることを目指していきます。

(社会連携・研究支援グループ)

附属機関

大学関連行事予定

Jan.2015 — Apr.2015



- 1月 5日(月)・・・■年始授業開始
- 1月27日(火)・・・■学園創立記念日(平常授業実施)
- 1月31日(土)・・・■平常授業終了
- 2月 1日(日)・・・■特別入試(後期・芸術学部・短期大学部)
※海外帰国生・社会人・留学生
- 2月 4日(水)～ 8日(日)・・・■第43回「卒業・修了制作展」(京都市美術館)
- 2月27日(金)・・・■第43回「進級制作展」(本学)
- 2月27日(金)・・・■一般入試(後期・短期大学部)
- 2月27日(金)・・・■専攻科入試(後期・短期大学部)
- 2月27日(金)・・・■3年次編入学入試(後期)
- 2月27日(金)・・・■大学院入試(後期)
- 3月13日(金)・・・■一般入試(後期・芸術学部)
- 3月13日(金)・・・■自己推薦入試(後期・短期大学部)
- 3月13日(金)・・・■スカラシップ入試(芸術学部・短期大学部)
- 3月20日(金)・・・■卒業・修了式(本学・講堂)
- 3月20日(金)・・・■祝賀パーティー(教育後援会主催)
- 3月23日(月)～26日(木)・・・■履修登録期間
- 3月29日(日)・・・■オープンキャンパス
- 4月 1日(水)～ 6日(月)・・・■新入生オリエンテーション期間
- 4月 2日(木)・・・■入学式
- 4月 7日(火)・・・■授業開始

ギヤラリー・博物館 企画報告

附属ギヤラリー「アートスペース嵯峨」では9月16日(火)から21日(日)まで「2014年度嵯峨まなびプログラム・生涯学習講座 受講生前期作品展」、10月5日(日)のオープンキャンパスでは「Fine Art

Sensation」10月20日(月)から26日(日)まで芸術学部造形学科油画分野3回生の自主企画展「era」、11月5日(水)から9日(日)まで芸術学部デザイン学科イラストレーション領域クラスの「illustration」の「C.ジーンズ」が開催されました。

附属博物館では10月1日(水)から11月2日(日)まで「京都嵯峨芸術大学の先人達第7回泉地靖雄展」を開催しました。泉地靖雄先生は1978年より退職される2004年3月までの26年間、本学で洋画の指導をされ多くの学生を育てられました。この企画展では代表作をはじめ、下絵、スケッチ、旅行記も合わせて展示し、作品の成立過程が見える構成で、卒業生

をはじめ、多くの来館者が熱心に見入っていました。(社会連携・研究支援グループ)

告知

第43回「卒業・修了制作展」告知



制作展の様子(昨年度)

1年に1度、大学を挙げて行う「大イベント」卒業・修了制作展」を2月4日(水)から8日(日)に京都市美術館にて開催いたします。この展覧会では、主に芸術学部4回生、大学院生、短期大学部2回生、専攻科生の作品を発表します。本学の教育成果を、ご覧いただくことができる展覧会となりますので、ぜひ足を運びください。

この展覧会では、主に芸術学部2・3回生、短期大学部1回生の作品を展示します。その他に自主制作作品もご覧いただくことができます。

また、「進級制作展」に合わせた学生の自主企画による「one room」が開催されます。「one room」は、構内のクラブボックスを会場に一人が一つのボックスを使用して展示する個性にあふれた作品をぜひご覧ください。(制作展WG)



京都市美術館での「卒業・修了制作展」の様子(昨年度)

展覧会名:第43回「卒業・修了制作展」
会期:平成27年2月4日(水)～8日(日)
時間:9:30～17:00(入場は16:30まで)
会場:京都市美術館
交通:地下鉄東西線「東山」駅から徒歩10分
市バス「岡崎公園美術館・平安宮前」下車すぐ

展覧会名:第43回「進級制作展」
会期:平成27年2月4日(水)～8日(日)
時間:9:30～17:00
会場:京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス
阪急電車「松尾大社」駅から徒歩20分(スクールバス有)
京福電鉄「車折神社」駅から徒歩5分
京都バス・市バス「車折神社前」下車徒歩3分

展覧会名:「one room」
会期:平成27年2月4日(水)～13日(金)
時間:9:30～17:00
会場:京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス クラブボックス

Information

本学関係者による展覧会情報

■ 本学卒業・修了生／全学部
『第43回卒業・修了制作展』
会期:2月4日(水)～8日(日)
時間:9:30～17:00(入場は16:30まで)
会場:京都市美術館

■ 本学在学学生／全学部
『第43回進級制作展』
会期:2月4日(水)～8日(日)
時間:9:30～17:00
会場:京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス

■ 学生自主企画
『one room』
会期:2月4日(水)～13日(金)
時間:9:30～17:00
会場:京都嵯峨芸術大学 本部キャンパス クラブボックス

■ 大沼憲昭／芸術学部造形学科 日本画
『星流の会』展
会期:1月2日(金)～6日(火)
時間:10:00～20:00(最終日は16:00まで)
会場:京都 高島屋 6階美術画廊

会期:1月28日(水)～2月3日(火)
時間:10:00～20:00(最終日は16:00まで)
会場:東京日本橋 高島屋 6階美術画廊
会期:2月18日(水)～24日(火)
時間:10:00～20:00(最終日は16:00まで)
会場:大阪難波 高島屋 6階美術画廊

■ 大沼憲昭・宇野和幸／芸術学部造形学科 日本画・油画
『「観○光」ART EXPO2015』
京都展
会期:3月6日(金)～5月6日(水)
会場:高台寺・泉涌寺・東本願寺(渉成園) 他

鎌倉展
会期:5月17日(日)～5月26日(火)
会場:建長寺・円覚寺・浄智寺 他

※スケジュールは変更になる場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

■ 『「京都・木と山の写真コンテスト」写真展』
期 間:1月6日(火)～12日(月)

■ 『2014年度生涯学習講座受講生
「絵本と原画の作品展」』
期 間:1月19日(月)～25日(日)

■ 『2014年度生涯学習講座講師 作品展』
期 間:3月9日(月)～14日(土)

■ 『2014年度生涯学習講座受講生 後期作品展』
期 間:3月16日(月)～22日(日)

※スケジュールは変更になる場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵐」(遊意館1階2階・玄関ホール) スケジュール

■ 『2014年度 嵯峨まなびプログラム作品展』
期 間:3月16日(月)～22日(日)
開館時間:9:00～17:00
休 館 日:なし

※スケジュールは変更になる場合があります。

京の美意識 スケジュール

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時間を刻んできた京都の独特の知識や美意識について、毎回、各分野の第一線で活躍されておられる講師をお招きして、ご講演いただいています(参加料無料)。また、ご希望の方には過去の講演録を販売しています(一冊千円)。

■ 第94回 1月24日(土)
森田 裕一(森田製茶)

お茶づくりの一年と伝統ある宇治茶栽培を通して感じること

■ 第95回 2月14日(土)
大沼 憲昭(本学教授)

変革期京都の日本画

※いずれの回も14:20～ 有響館G401教室(参加無料)
お申込み・お問い合わせは社会連携・研究支援グループまで。
TEL.075-864-7898

あらし山びこスケジュール

本学附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしなが、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

入場無料:参加自由
場 所:京都嵯峨芸術大学
 採原キャンパス「有響館」1階 附属図書館内

[絵本読み語り]

回	日程	時間	テーマ
4	2月21日(土)	13:30～	えほんとあそび

※大学授業や行事などにより開催日やテーマを変更する場合があります。
お問い合わせ先は、社会連携・研究支援グループまで。
TEL.075-864-7898

[編集後記]

毎年このことですが、1年はあっという間に過ぎてしまいます。秋は学校行事も目白押しで、特に早く過ぎたように思います。
今号でも紹介したように、学園祭期間中の11月2日(日)にホームカミングデイが開催され、多くの卒業生が参加してくださいました。同級生や先生方と久しぶりに顔を合わせて、写真を撮られたり歓談したり。1年に1回ですが、「嵯峨芸・嵯峨美」の卒業生パワーをいただけた1日でした。来年もぜひお越しください。(入学広報グループ)



学校法人 大覚寺学園

京都嵯峨芸術大学 大学院・芸術学部・短期大学部

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地 TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 http://www.kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨芸術大学広報 第51号 2014年12月24日発行 編集:京都嵯峨芸術大学 入学広報グループ 発行:学校法人 大覚寺学園 京都嵯峨芸術大学 info@kyoto-saga.ac.jp

